

平成28年度

鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター

活動報告

特定非営利活動法人
かまくら地域介護支援機構

1. はじめに

鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター（以下サポートセンターという）は、平成19年度から鎌倉市との協働事業としての「高齢者生活支援サービスの調整機関の検討委員会」の検討、その後高齢者生活支援を担うサポーター養成講座、開設準備のための試行等を経て、平成25年5月より鎌倉市の委託事業として「鎌倉市高齢者生活支援サポート事業」を受託し、平成25年7月1日に台在宅福祉サービスセンター内に開設された。高齢者が地域の中で安心して暮らしていただけることを目的にして、サポーター養成講座を受講した市民によるサポート活動を続け、平成29年度7月に5年目を迎える。この報告書は平成28年4月1日から29年3月31日までのサポートセンターの活動を報告するものである。

2. 平成28年度の活動について

平成28年度利用者登録数は91名（前年度は69名）で、平成29年3月末の実際の利用者数は50名（前年度は48名）であった。途中で施設入所や転居、入院などにより、人数に変動がある。また、登録サポーターは134名（前年度117名）でサポート活動を行っている。

毎月のサポーター会議と、鎌倉市との合同会議で利用者状況の把握・改善点の検討を行って共有し、利用者が安心して自宅で毎日が過ごせるよう、そしてサポーターが活動しやすいように話し合いを重ねている。今年度より、サポーター会議を地域別（5地区）に開催し、各地域の地域包括支援センターの担当者を招き、サポートセンターの活動への理解と連携をより深める機会とした。参加した方からは、サポーターが利用者やその家族との信頼関係を構築し、その結果、利用者の笑顔や生活の改善につながっていること、高齢になっても暮らしやすい地域づくりの担い手になっているのではないかと感想を得ている。

なお、登録サポーターのスキルアップを目的とした研修会を年2回開催、毎回多数のサポーターが参加し資質の向上に努めている。また年2回、情報紙「おげんきですか通信」を、サポーターからも編集員として参加を得て、発行している。サポート活動の報告や利用者の声、スキルアップ講座の感想などを掲載し、サポートセンターの状況を市民に向けて発信している。

3. 利用者数や受付状況、活動事例

1) 利用者一覧表

28年4月1日～29年3月31日

地域	利用人数	性別		年代				家族形態			介護認定			
		男性	女性	60代	70代	80代	90代	独居	配偶者同居	配偶者以外同居	認定なし	支援1	支援2	介護1
鎌倉	16	1	15	0	2	12	2	10	2	4	7	2	3	4
腰越	32	2	30	1	6	23	2	22	8	2	18	4	8	2
深沢	11	3	8	0	2	7	2	7	3	1	6	3	2	0
大船	20	2	18	0	5	12	3	9	6	5	3	9	3	5
玉縄	12	4	8	0	2	10	0	6	2	4	4	1	6	1
合計	91	14	77	1	17	64	9	54	21	16	38	19	22	12

一人暮らしの高齢者、高齢者夫婦のみの世帯が増加傾向にあり、さまざまな生活ニーズが見えてきた。高齢化が進む中で、特に一人暮らしの高齢者は、自宅で生活が出来なくなった時の不安を感じている。また、高齢者夫婦のみの世帯は、将来どちらか「介護」が必要になった時、「老々介護」が問題になる可能性が高い。介護保険制度では、同居家族がいる場合、家事支援のサービスが制限されるために、負担が重くなっている。

誰もが年を重ねる中で、今まで出来ていたことが少しずつできなくなり、不安や不便さを感じる時、地域の支え合いにより継続した暮らしのサポートをしていくことが必要になる。

在宅高齢者への軽度な生活支援をすることで、介護予防や健康増進、日常生活の質を充たすことにつながっていく。高齢者が直面している課題は様々だが、「困りごと」はそれぞれ世帯により違いがみられる。サポートセンターでは、地域の特性をつかみながら多様な機関と連携し、気軽に利用できる窓口として活動していきたい。

2) 受付状況

28年4月1日～29年3月31日

	新規電話受付		コーディネーター 訪問		サポーター 同行訪問		最終 成立	モニタリング訪問件数		
	受付 件数	成立	訪問 件数	成立	同行 件数	成立		担当者会議 様子伺い等	サポーター 同行訪問	計
		不成立		不成立		不成立				
4	5	5	5	5	5	5	5	8	4	12
		0		0		0				
5	5	3	3	3	3	3	3	4	1	5
		2		0		0				
6	6	5	5	5	5	5	5	5	1	6
		1		0		0				
7	5	4	4	4	4	4	4	6	1	7
		1		0		0				
8	7	3	3	2	2	2	2	2	1	3
		4		1		0				
9	9	4	4	4	4	4	4	3	2	5
		5		0		0				
10	4	1	1	1	1	1	1	2	1	3
		3		0		0				
11	5	1	1	0	0	0	0	9	1	10
		4		1		0				
12	7	4	4	4	4	4	4	5	0	5
		3		0		0				
1	6	5	5	5	5	5	5	2	0	2
		1		0		0				
2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2
		1		0		0				
3	2	2	2	2	2	2	2	4	2	6
		0		0		0				
計	63	38	38	36	36	36	36	51	15	66
		25		2		0				

介護保険では対応できない支援や、困ったことへの対応を気軽に相談できる当サポートセンターの仕組みへの理解が広がってきたことを感じている。生活支援サポーターが支援を続ける中で、利用者の身体状況の変化を感じて公的サービスが必要だと思われる時は、居宅介護支援事業所のケアマネジャーにつなぐこともある。利用者が必要な時に必要なサービスが利用できるように、本人、家族の気持ちを理解し、できる限り自立した生活ができるようにコーディネートしている。利用者もサポーターが定期的に訪れることで、孤立感や不安が解消し安心して過ごしている。これからも信頼関係を大切に、市民が市民を支える「地域の助け合い」の良さを生かしながら、事業を展開していきたい。

3) 活動の内容 (年間の活動の中での代表的な事例)

支援内容	性別	年代	依頼内容	活動事例
趣味や生きがいの支援	女性	80代	一人暮らし。持病があり膝が痛い。庭の手入れを手伝ってほしい。	ご本人の要望を聞きながら、土を耕し、下草を取り除いている。
	女性	80代	畑を耕し、季節ごとに野菜を作りたい。	長時間の立位が困難になり、腰に痛みがある。種まき、収穫を一緒にする。
外出支援	女性	80代	杖使用。公共機関を利用して、外出したい。	その都度場所を決めながら、安心して歩き、楽しく過ごしている。
	男性	80代	歩行器を利用している。通院、公共の場所へ行く。散歩もしたい。	通院時の待ち時間、散歩中の交通状況などに注意し、お話ししながら過ごしている。
	女性	80代	買い物、通院等を一緒に行ってほしい。	歩行がゆっくりで長時間歩くことができない。診断の説明も一緒に聞き取る。
家事支援	女性	80代	持病で立ち仕事が辛い。調理の下ごしらえを手伝ってほしい。	台所でお話をしながら、笑い声も出て、楽しく家事をしている。
	男性	80代	一人暮らしで、不慣れた台所などの水まわりの掃除を手伝ってほしい。	サポーターが掃除中は、ご本人も部屋で掃除機をかけ、一緒に家事をされている。
	女性	80代	腰の痛みがあるので、落ち葉はきや掃除機かけをしてほしい。	家族に頼らず一人で過ごしていきたいという思いがある。話をしながら、ともに楽しい時間を過ごしている。
話し相手	女性	80代	身体が悪くなり、友人と会うことが無くなってきた。話し相手がほしい。	趣味の事、家族の話などいつも笑いが絶えない。「楽しかった、また来てください」と温かい挨拶がある。
	男性	80代	話を聞いてほしい。	サポーターが話し相手をしている間に奥様が外出する。会話を楽しみにされ、気分転換になるとのこと。

4. サポーターの活動状況

28年4月1日～29年3月31日

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	55	52	57	56	58	55	55	46	54	48	55	52	643
回数	158	142	156	165	163	154	148	128	147	121	136	154	1772
時間数	278	243	270	292	279	261	243	208	263	199	220	246	3001

5. 高齢者生活支援サポーター養成講座

鎌倉市に暮らしている高齢者が、安心して在宅生活を過ごすうえで必要な家事支援等の軽度なサービスを提供するために、必要な知識と技術を身に付けた「高齢者生活支援サポーター」として地域で活動に参加する人材の養成を目的として、定期的を開催している。サポーターを全市的に迎えたいので、講座の開催場所を4地区で行った。各回の講座で、地域包括支援センターのケアマネジャーや市外の介護関係の見学者を迎えて、受講者とともに講習を受けた。

	月 日	開催場所	受講者数		登録者数	
			男性	女性	男性	女性
1	5月24日(火) 5月31日(火)	鎌倉生涯学習センター	4	8	1	5
2	7月21日(木) 7月28日(木)	大船学習センター	5	5	4	2
3	10月19日(水) 10月26日(水)	深沢学習センター	0	6	0	4
4	2月15日(水) 2月22日(水)	玉縄学習センター	4	11	3	5
	合 計		13	30	8	16

6. コーディネーター養成講座

生活支援のサポートを希望する高齢者に、活動するサポーターの紹介やそのサポート内容を調整するコーディネーターは、活動を進める上で重要な役割を担っている。鎌倉市地域包括支援センターや民生委員と連携し、依頼者である高齢者にとってより良いサポートを提供することに努めている。また、高齢者の状況や介護保険制度、対人援助などを理解することも重要である。今年度は、サポート活動を円滑に行うために調整する役割を担うコーディネーターを養成する講座を開催した。

開催日	開催場所・講師	受講者数	
		男性	女性
11月19日(土) 11月26日(土)	鎌倉市台在宅福祉サービスセンター 講師：菊池健志氏(実践ソーシャルワーク塾)	1	6

7. そのほかの活動

1) 研修会の開催

- ① 第1回サポータースキルアップ講座「生活を支援するとは何か」をみんなで考えてみよう
日 時：28年9月2日(金) 13:30～15:30 台在宅福祉サービスセンター
講 師：大坂慎介氏 (トータルケアマネジメント研究会)
参加者：サポーター31名、地域包括支援センターケアマネジャー4名、スタッフ6名
- ② 第2回サポータースキルアップ講座「介護保険制度の現状とサポーターの働き方について」
日 時：29年3月3日(金) 13:30～15:30 台在宅福祉サービスセンター
講 師：坂本文典氏 (さくら貝サービス事業所 所長)
参加者：サポーター23名、地域包括支援センターケアマネジャー7名、スタッフ7名

2) 会議

① 平成28年度 サポーター会議

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催日	4/1	5/6	6/3	7/1	休	9/2	10/7	11/4	12/2	1/6	2/3	3/3	11回
参加人数	24	18	19	40		41	17	16	14	35	14	37	275名

② 平成28年度 鎌倉市との合同会議

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催日	4/15	5/20	休	7/15	8/19	9/16	10/21	11/11	12/16	1/20	2/17	3/17	11回
参加人数	9	9		9	6	7	5	8	7	8	7	9	84名

③ 平成28年度 事務局会議

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催日	4/1	5/6	6/3	7/1	8/19	9/2	10/7	11/4	12/2	1/6	2/3	3/3	12回
参加人数	6	7	7	4	5	6	6	5	5	6	5	6	79名

3) 行事

① 新年会 29年1月6日(金) 12:00～15:00 台在宅福祉サービスセンター

参加者：サポーター29名 スタッフ6名

4) 広報活動

① 情報誌「おげんきですか通信」第5号及び第6号発行

② パンフレット「おげんきですか」改訂・印刷

③ 民生委員・児童委員協議会への業務説明（平成29年2月～3月）

④ 地域ケアサロンへの業務説明（平成28年6月）ケアマネサロンに参加（平成28年8月）

7. 今後に向けて

鎌倉市高齢者生活支援サポートセンターの主な業務は、市民や生活支援サポーターからの相談や関係機関との調整である。しかしながら時間外や休日にコーディネーターがそれぞれの携帯電話で対応する場合もあり、複雑化するマネジメント業務については今後の課題でもある。地域包括ケアを推進する中で、市民が市民を支える仕組みとして、サポートセンターの活動を多くの市民に理解していただくために、より一層の広報活動を続けていく必要があると考えている。

また、鎌倉市に暮らす高齢者が、日常生活を安心して過ごせるとともに、自分らしい生活を在宅で継続できるように、高齢者生活支援サポーターがその生活を見守り、介護予防や認知症の早期発見の観点からもその活動を支援していくことが重要である。

今年度はサポーター会議を各5地域で開催し、担当エリアの地域包括支援センターの職員を招いて、サポートセンターの活動について理解を深めていただき、更なる連携の協力をお願いしたが、平成29年度も引き続き各地域で開催することとする。